

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会

黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり

実施計画書

目 次

はじめに	1
------------	---

基本計画編

1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的	2
2. 対象地	2
3. 推進体制	3
4. 目標	3
5. 実施方針	4

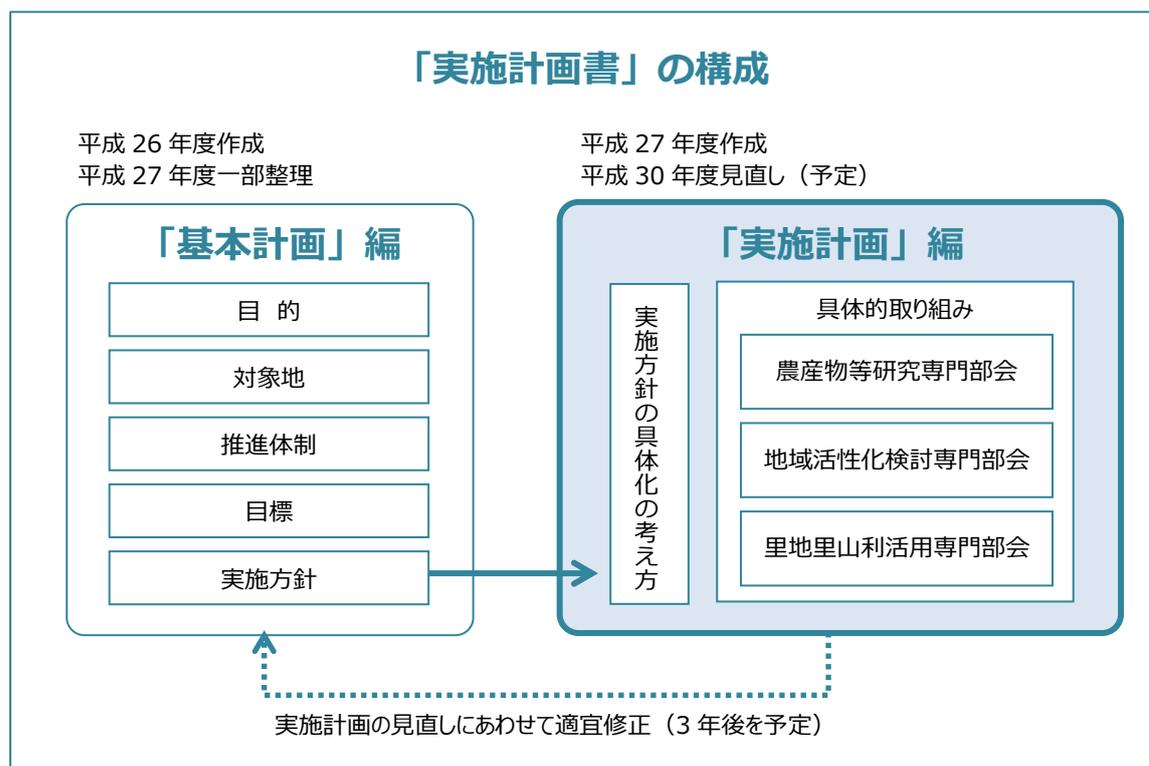
実施計画編

1. 実施計画の構成	5
2. 平成 28 年度以降の進め方	5
3. 「実施計画」平成 28 年度の取り組み一覧（全体）	6
4. 「実施計画」平成 28 年度の取り組み一覧（専門部会別）	8
(1) 農産物等研究専門部会	10
(2) 地域活性化検討専門部会	15
(3) 里地里山保全利活用専門部会	26

はじめに

「黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり」では、黒川地区の豊かな里地里山環境において、多様な担い手の関わりや連携によって、地域の活性化や持続的に里地里山を維持保全していくため、平成 26 年度にその目標や体制、方針を定めた「基本計画」を作成しました。そして、平成 26・27 年度にかけて試行的取り組みを実施し、それを踏まえて基本計画の内容を一部修正・整理するとともに、本年度、基本計画の実施方針を具体化するための「実施計画」を作成しました。

本実施計画書は、「農と環境を活かしたまちづくり」を着実に進めていくため、その担い手となる地元農業者・地域住民・大学・行政等が目指すべき将来の姿（目標）を共有することを目的に、一部修正・整理した基本計画と、平成 28 年度以降の本格的取り組みに向けた「実施計画」を一体的に取りまとめまとめています。



基本計画編

1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的

川崎市麻生区黒川地区は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域です。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

■ 黒川地区が抱える課題

農が抱える課題

- 都市農地の保全
- 農家・農業後継者の減少
- 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上

緑が抱える課題

- 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保
- 生物多様性の保全、環境学習環境の確保
- 農業施策と緑地保全施策の連携

地域が抱える課題

- 地域の活性化と増加する来訪者等への対応、マナー向上
- 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

2. 対象地

農と環境を活かしたまちづくりの対象地は、下記の「里地里山保全等地域」を中心に、周辺住宅地等と連携しながら取り組みを進めていきます。

川崎市黒川地区

川崎市の北西の先端に位置し、周りを多摩市・稲城市・町田市に市境を接し、豊かな緑が残された里地里山の面影を残すエリアと整備された良好な住宅地を合わせ持つエリア

里地里山保全等地域

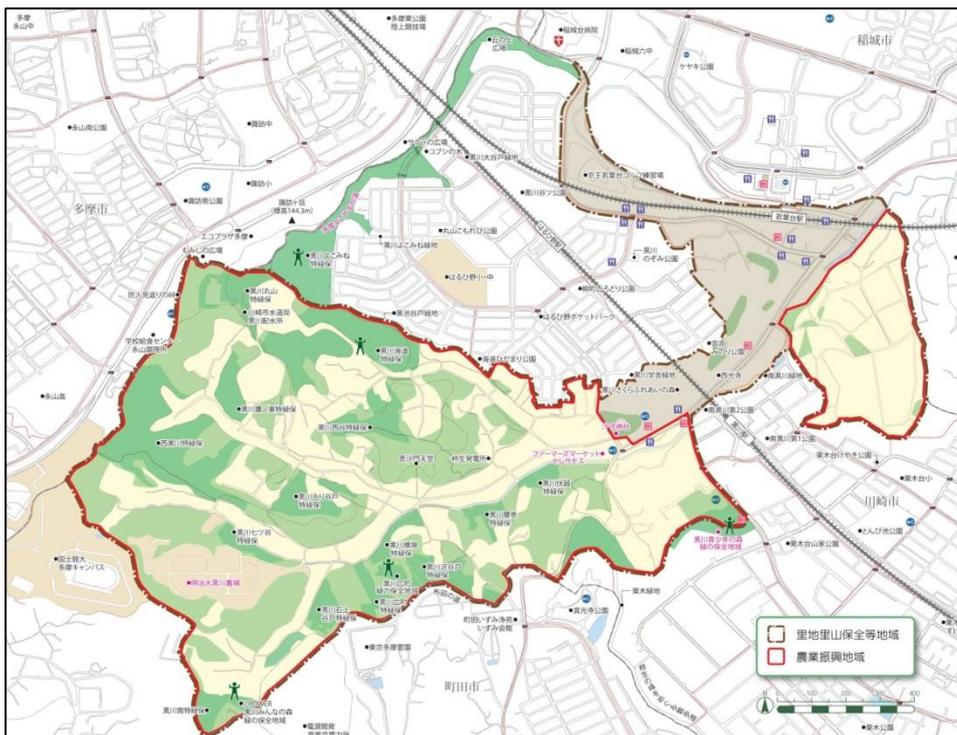
神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例に基づき、選定された地域

最寄り駅

京王相模原線若葉台駅または小田急唐木田線はるひ野駅・黒川駅

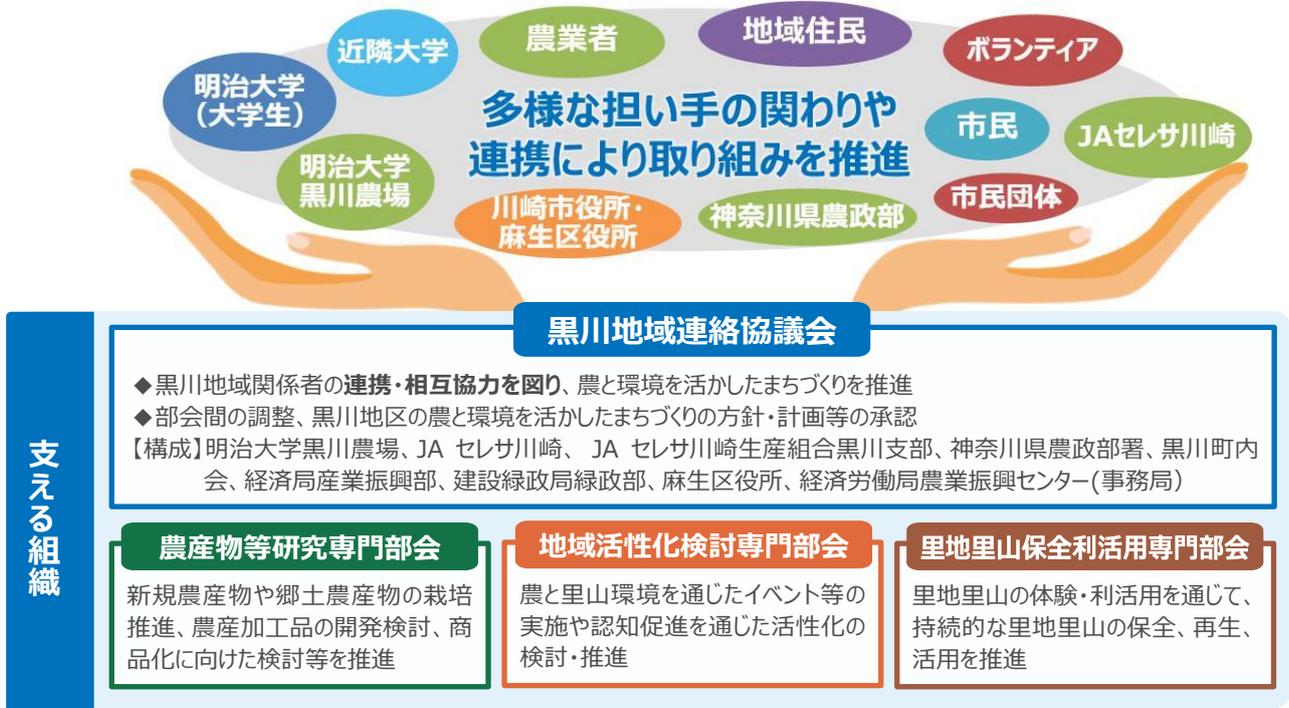
近年の変化

平成 20 年に大型農産物直売所「セレスモス」の開所
平成 24 年に明治大学黒川農場の開場



3. 推進体制

多様な担い手からなる「黒川地域連携協議会」を中心し、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全利活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行・検証の上、継続的に実施していく内容を検討していきます。



4. 目標

大目標：地域の農業資源・環境資源・人的資源を活用した地域の活性化や地域交流の推進
～持続的な里地里山の保全に向けて～

3つの柱：農産物等の地産地消（農産物等研究専門部会）
農と里山体感・地域交流（地域活性化検討専門部会）
里山の保全と活用（里地里山保全利活用専門部会）



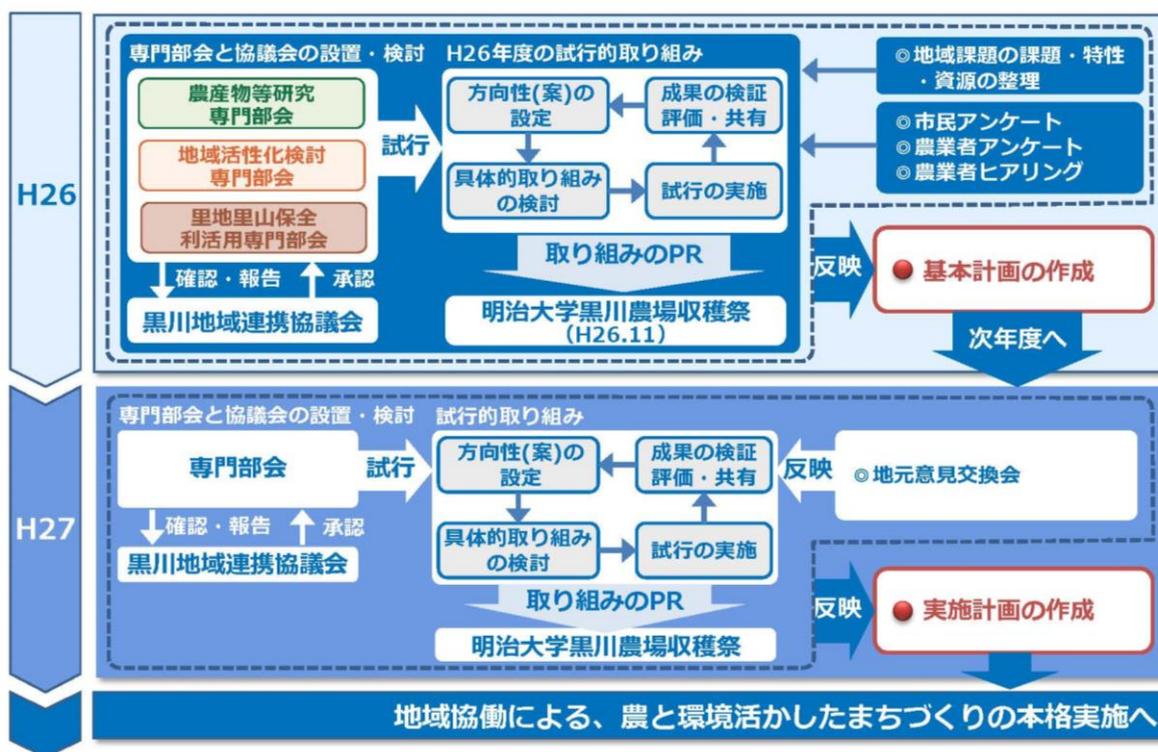
5. 実施方針

実施方針	実施体制と取り組み事項
<p>地元農産物の販売促進と加工品の開発</p>	<p>農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。</p> <p>→ 農産物等研究専門部会</p>
<p>農や地域環境を体感するイベントの実施・PR</p>	<p>農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。</p> <p>→ 地域活性化検討専門部会</p>
<p>里山の保全や活用の推進</p>	<p>多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。</p> <p>→ 里地里山保全利活用専門部会</p>

「参考」 平成 26 年度及び 27 年度の取り組み

平成 26 年度は、農と環境を活かしたまちづくりを推進するため、専門部会と協議会等の推進体制を構築し、まちづくりの方向性や具体的な取り組みを検討・試行しました。また、市民アンケートや農業者ヒアリング等を実施し、地域の課題やニーズの把握等をふまえ、基本計画を策定しました。

平成 27 年度では、基本計画を元に、具体的な取り組みを試行し、その成果の評価・検証を行い、地域協働による農と環境を活かしたまちづくりの本格実施に向けて、実施計画を作成しました。



実施計画編

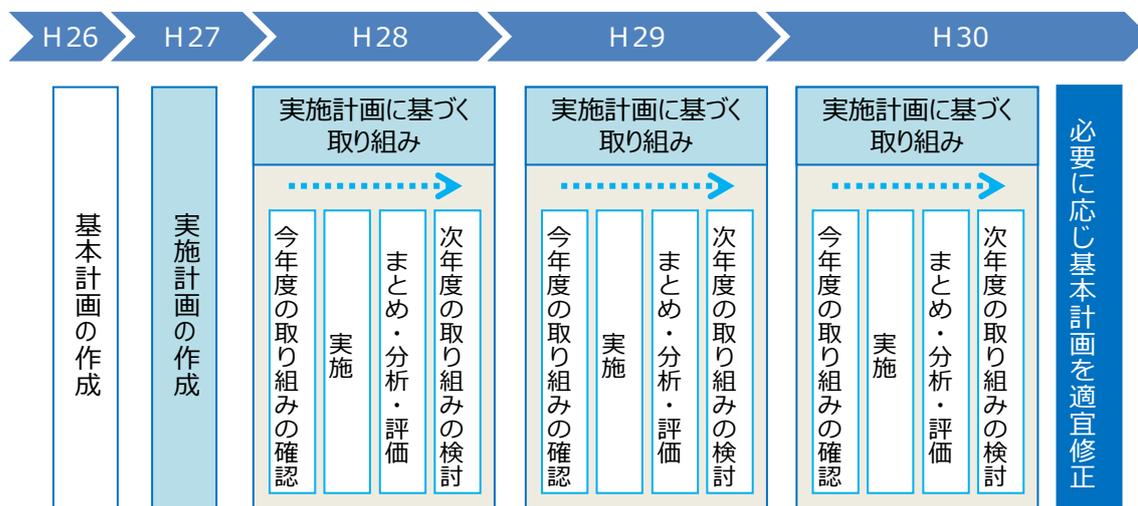
1. 実施計画の構成

平成 26 年度に定めた基本計画の実施方針に基づき、平成 26~27 年度の試行的取り組みを踏まえ、平成 28 年度以降の実施計画の構成を以下のように定めました。

実施方針	実施計画	
	実施方針の具体化の考え方	取り組み（例）
地元農産物の販売促進と加工品の開発 農産物等研究専門部会	新規農産物や郷土農産物栽培の推進 農産物のブランド化等を進めるため、効率的・効果的な農産物の栽培や特色ある農産物の栽培に向けた取り組みを実施する。	・大学と農家の意見交換
	農産加工品の開発検討 地域農産物の付加価値を高めるため、地域の女性農業者等と連携し、特色ある加工品開発や販売等の取り組みを実施する。	・農産加工品に関する検討
	農産物等のイベント活用や PR の推進 黒川産の農産物等の認知促進のため、積極的な PR の取り組みを実施する。	・黒川野菜・果物等の PR
農や地域環境を体感するイベントの実施・PR 地域活性化検討専門部会	黒川地域の認知促進 黒川地域の里地里山環境を PR するため、快適な散策環境の充実に向けた取り組みを実施する。	・サインの検討 ・散策マップの検討・試行 など
	農と地域環境の体感 多くの人に黒川地域の魅力を伝えるため、里地里山の農産物等の恵みを活かし、多様な体験を提供する取り組みを実施する。	・グリーンツーリズム など
	新たな魅力の発見・創造 黒川地域に関心に向け、新たな顧客を獲得するため、黒川地域の新しい魅力を発見・創造する取り組みを実施する。	・菜の花プロジェクト など
里山の保全や活用の推進 里地里山保全活用専門部会	里山の体験・利活用 里山環境とふれあう機会をつくるため、里山の竹材や木材の利活用や里山環境を活かした多様な体験を提供する取り組みを実施する。	・竹あんどんづくり など
	里山の保全管理 持続的な里山環境の保全と担い手の確保につなげるため、地域の団体との連携による保全管理等の取り組みを実施する。	・里山保全活動体験 など

2. 平成 28 年度以降の進め方

平成 27 年度に作成した「実施計画」に基づき実施していきますが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。おおむね 3 年を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。



4. 「実施計画」平成28年度の取り組み一覧（専門部会別）

（1）農産物等研究専門部会

農産物等研究専門部会の取り組み事項 平成28年度版

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施

農-3 殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会

農-4 農産加工品に関する検討

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。今年度は、アスパラガスの採れつき栽培をテーマとする。
		目的 <p>【地域交流】明治大学黒川農場での取り組みを地域の方々があまり知らな いため、地元農業者と大学関係者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学 が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交 換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	平成 29 年 2 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①明治大学黒川農場の施設紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
	予算等	—
その他		—

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ホーラーを使用し、3月定植、翌春に一作で採りきる「採りつきり栽培」の見本畑を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。 <p>目的</p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	<p>平成 28 年 11 月頃 栽培講習会</p> <p>平成 29 年 2 月頃 見本畑設置、栽培実習</p>
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	-
	内容	<p>①栽培講習会の実施</p> <p>②見本畑設置、栽培実習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に見本畑を設置し、栽培を実習できる機会を設ける。
	予算等	-
その他		-

農-3 殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <p>・難防除害虫アザミウマについて、黒川地域での薬剤抵抗性について大学の調査結果をもとに講習会を行い、環境にやさしい農業を目指す。</p> <p>目的</p> <p>【地域交流】 明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【環境保全】 農薬を効果的に使う方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の実現を目指す。</p>
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	平成 29 年 2 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①講習会の開催
	予算等	—
その他		—

農-4 農産加工品に関する検討

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う <p>目的</p> <p>【黒川産商品開発】黒川地域の活性化に向けて目玉となる農産加工品の開発等が必要であるため、黒川産の農産加工品を開発し販売につなげる。</p> <p>【認知促進】既にある黒川産農産加工品のPRが必要であるため、黒川産農産加工品をPRし、多くの方に知っていただく。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：川崎市農地課</p> <p>対象：農産加工品に関心のある農業者</p> <p>協力：神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所、セレサモス</p>
実施内容	実施予定日	意見交換会：平成 28 年 9 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	<p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見 <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農産物加工品の開発の可能性ややってみたいメニューについて意見交換 <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方等に関する意見交換
	予算等	黒川公会堂の会場費
その他		—

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

計 画

概要・目的		概要 ・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。																
		目的 【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。 【地域交流】農家と直接お話しをしながら、野菜を買いだめという意見が前回の収穫祭ですでにいたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。																
実施体制、対象者等		主催：地元農業者、川崎市農地課 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者																
実施内容	実施予定日	平成28年11月12日（土）収穫祭																
	実施場所	明治大学黒川農場																
	周知・PR	・ 明治大学収穫祭告知チラシ、HP等 ・ 協議会によるチャレンジウィークチラシ、HP等																
	内容	収穫祭にて「農家さんの黒川さん農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売 ■ 農産物の種類（案） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ 大根</td> <td>・ 里芋</td> </tr> <tr> <td>・ かぶ</td> <td>・ 親芋</td> </tr> <tr> <td>・ 人参</td> <td>・ ブロッコリー</td> </tr> <tr> <td>・ きゅうり</td> <td>・ 次郎柿</td> </tr> <tr> <td>・ たまねぎ</td> <td>・ 本ゆず</td> </tr> <tr> <td>・ 小松菜</td> <td>・ キウイフルーツ</td> </tr> <tr> <td>・ チンゲン菜</td> <td>・ たまご</td> </tr> <tr> <td>・ 白菜のぬき菜</td> <td></td> </tr> </table> （平成27年度：14品目 660点）	・ 大根	・ 里芋	・ かぶ	・ 親芋	・ 人参	・ ブロッコリー	・ きゅうり	・ 次郎柿	・ たまねぎ	・ 本ゆず	・ 小松菜	・ キウイフルーツ	・ チンゲン菜	・ たまご	・ 白菜のぬき菜	
	・ 大根	・ 里芋																
・ かぶ	・ 親芋																	
・ 人参	・ ブロッコリー																	
・ きゅうり	・ 次郎柿																	
・ たまねぎ	・ 本ゆず																	
・ 小松菜	・ キウイフルーツ																	
・ チンゲン菜	・ たまご																	
・ 白菜のぬき菜																		
予算等	—																	
その他		—																

<参考>昨年度の様子

実施概要	実施日時	平成 27 年 11 月 7 日
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	収穫祭来場者数 約 1,150 名
実施状況 (写真等)	11:00 販売開始 15:30 販売終了	
		
	販売場所	販売テント
		
	購入者の列	商品
		
農家さんと市民（購入者）との交流		

(2) 地域活性化検討専門部会

地域活性化検討専門部会の取り組み事項 平成 28 年度版

地-1 サインの検討・試行

地-2 散策マップの検討・試行

地-3 里山景観づくりの検討・試行

地-4 HP 等による取り組み紹介とイベント PR

地-5 グリーンツーリズム

地 5-1 トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

地 5-2 ジャガイモの収穫体験

地-6 竹炭シンポジウム

地-7 <地域農産物等の活用> 菜の花プロジェクト

地-8 里山アート制作と展示【里山アートサンボ】

地-1 サインの検討・試行

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行の取り組み ・今年度は里山アートと連携して、散策誘導を試行的に実施 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】 来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること</p> <p>【マナーアップ】 ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと</p> <p>【地場材の活用】 黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。</p>
実施体制、対象者等		<p>主 催：和光大学（制 作：和光大学生・卒業生）</p> <p>協 力：地元農業者、小田急電鉄、セレスモス、黒川宮農団地管理組合（農業用倉庫）</p> <p>事務局：麻生区役所</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月～12 月頃 ※収穫祭（11/12）前後
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 ＜黒川駅～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場＞
	周知・PR	散策マップの配布、ポスターの掲示
	内容	<p>①総合案内サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ <p>②誘導サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルートの誘導のためのサイン <p>③位置サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山アートの紹介サイン
	予算等	サイン制作費
その他		-

地-2 散策マップの検討・試行

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の散策マップや散策ルート等のあり方を検討 ・今年度は里山アート制作と連携して、散策誘導の試行と里山アート紹介を兼ねた暫定散策マップを配布
		目的 <ul style="list-style-type: none"> 【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること 【マナーアップ】農地への無断立ち入りなど、注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと 【情報発信の推進】農と環境のまちづくりのPRや各種取り組み（里山アート等）の認知促進
実施体制、対象者等		主 催：和光大学（制 作：和光大学生・卒業生） 協 力：地元農業者、明治大学、セレスモス、黒川営農団地管理組合（農業用倉庫） 事務局：麻生区役所 対象者：黒川地域の来訪者
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月～12 月頃
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場>
	周知・PR	明治大学黒川農場、農業用倉庫前、セレスモス等で配布
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、まだ、黒川地域での推奨する散策ルート等の検討を行っていないため、設置する期間を限定し、里山アートの設置場所の紹介をするための暫定版の散策マップを配布する。
	予算等	散策マップ制作費、印刷費
その他		ルートについては、地元の意見や情報を反映したものとする。

地-3 里山景観づくりの検討・試行

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の検討・試行を行う。 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。</p> <p>【認知促進】里山環境に適した花景観を創出することで、黒川の新たな魅力としてPRし、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。</p>
実施体制、対象者等		<p>協 力：地元農業者等</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	実施予定日	<p>種まき：平成28年10月頃（春に開花の場合）</p> <p>開 花：平成29年3月～4月頃</p>
	実施場所	黒川海道特別緑地保全地区、ほか黒川地域
	周知・PR	—
	内容	<p>検討事項</p> <p>① 種まき</p> <p>里山の風景と調和した花の景観を形成するため、散策路沿いおよび賛同を得られた農地沿いに菜の花や蓮華等の種まきを行う。</p> <p>→種の種類、敷地所有者の賛同、ルート等</p> <p>② 開花期</p> <p>景観づくりの目的や取り組みを紹介するサインを設置する。</p> <p>→広報方法、管理方法</p>
	予算等	—
その他		—

地-4 HP 等による取り組み紹介とイベントPR

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実 ・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施 <p>目的</p> <p>【取り組みのPR・情報発信】 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>【担い手づくり】 「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		<p>担当：麻生区役所</p> <p>対象者：ホームページ閲覧者、収穫祭来場者</p>
実施内容	実施予定日	<p>収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成28年11月12日（土）</p> <p>ホームページ：随時更新</p>
	実施場所	<p>パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場</p>
	周知・PR	<p>麻生区ホームページ（インターネット）</p>
	内容	<p>①取り組みの紹介とPR 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>②イベントの参加募集と活動報告 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</p> <p>③イベントアンケート調査 来場者に向け、農産物等研究専門部会と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</p>
	予算等	<p>アンケート印刷費、パネル印刷費、アンケート回答者へのノベルティ代</p>
その他		-

地-5-1 <グリーンツーリズム>

トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

計 画

概要・目的		概要	・20～30年代モニターを募集し、トマトとブルーベリーの収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施
		目的	【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。 【参加者以外へのPR】報道取材やSNSによる発信により、参加者以外へも幅広い麻生区の農業についての周知を図る。 【ニーズ調査】若い世代の農業についてのニーズや活性化のための意見をまとめ、今後の取り組みの参考にする。
実施体制、対象者等		主催：麻生区役所 協力：明治大学黒川農場、セレスモス、川崎市農業振興センター農地課 対象者：川崎市在住・在学の20～30代の男女（モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方）	
実施内容	実施予定日	平成28年7月30日（土） 9：50～13：00 黒川駅南口集合	
	実施場所	・ブルーベリー収穫体験：川崎市援農ボランティア実習用ブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等：明治大学黒川農場	
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・タウンニュース掲載 ・チラシの配布（区役所・小田急各駅、食品衛生協会による各店舗配布、地域情報誌、新聞、SNSによる発信、など）	
	内容	①収穫体験 ・ブルーベリーの収穫 ・トマト・ナス・ピーマンの収穫 ② 明治大学黒川農場の見学 ③ アンケート調査と意見交換 ・農に対するニーズなどの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。	
	予算等	参加費無料、運営費（袋、パック等）	
その他		-	

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 28 年 7 月 30 日 (土) 10:00~13:00
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等：明治大学黒川農場
	参加者数	20名（申込：33名、欠席連絡有11名、連絡なし2名）
実施状況 (写真等)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">9:50 黒川駅南口</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">10:20 ブルーベリー畑</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 11:00 明治大学黒川農場到着 ・農場見学 ・トマトの収穫体験 ・アンケートの記入 ・意見交換 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">13:00 セレサモスにて解散</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べながら好みの味のものが収穫できてよかった。 ・久しぶりに土に触れることができ、いい機会だった。 ・黒川の農業を知る機会になった。今後、地産地消を意識していきたい。 ・農場見学が興味深く、楽しかった。 ・参加者同士の自己紹介や交流の時間があったらよかった。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）		
その他	-	

地-5-2 <グリーンツーリズム> ジャガイモの収穫体験

計 画 (案)

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民を対象に、ジャガイモの植え付けから収穫・調理までを通して体験し、農への興味・関心を深める。 <p>目的</p> <p>【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。収穫だけでなく、植え付けの段階から調理までの活動することで、参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：麻生区役所 協力：黒川地域、セレサモス 対象者：麻生区民（主なターゲット層未定）</p>
実施内容	実施予定日 (例)	<p>植 付：平成 29 年 3 月 芽かき：平成 29 年 4 月後半 草取り：平成 29 年 5 月 収穫・調理：平成 29 年 6～7 月</p>
	実施場所	黒川地域の農地（未定）
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区ホームページ内での告知 ・チラシの配布
	内容	<p>①植付体験 ・じゃがいもの育て方の講習会 ・植付</p> <p>②わき芽かき体験 ・芽かき作業の説明と実施 ・追肥の実施</p> <p>③草取り作業 ・畑の囲い込み（支柱たて）、雑草等の草取り</p> <p>④ 収穫体験 ・じゃがいもの収穫体験 ・調理・試食</p>
	予算等	参加費：500 円程度
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付け場所、講師の確保

地-6 竹炭シンポジウム

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <p>・炭の今後の活用の可能性等をテーマとしたシンポジウムを、農家・大学・NPO 等と連携によって実施。</p> <p>目的</p> <p>【竹林管理と活用】家庭菜園などにも土壌改良材として利用できる竹炭にする事例を実際に見聞きし、竹林を活用しながら適正な管理を実践する仕組みづくりについて、学ぶ機会とする。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：明治大学、麻生区役所、NPO 法人 K-BETS NPO 法人竹もりの里</p> <p>協力：地元農業者、</p> <p>対象：地元農業者、地元住民等</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 9 月 14 日（水） 13：00～16：00（10：00～見学可）
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	チラシ、ポスター等
	内容	<p>①竹炭製造のデモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭化炉を使って、実際に竹炭をつくる <p>②シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「竹炭の農業利用」 明治大学特任教授藤原氏 ・事例発表① 麻生区における里山管理の現状と課題 ・事例発表② 千葉県における竹炭づくりの取り組み ・事例発表③ 竹炭の土壌改良効果 ・事例発表④ 家庭で竹炭を使った有機野菜・花づくり
	予算等	チラシ・パンフレット印刷費
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹炭製造デモンストレーション用の古竹・青竹（合計 1 トン程度）の調達。 ・当日運営人員

地-7 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

計 画

概要・目的		<p>菜の花プロジェクトの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。 ・平成 27 年 10 月に、明治大学黒川農場の協力により圃場の一部（約 2a）にナタネを播種し、平成 28 年 6 月頃に種取りをして菜種油を製造した。 <p>レシピづくりの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜の花プロジェクトで製造した菜種油と黒川産の農産物を活用した商品をつくり、明治大学黒川農場収穫祭で販売を目指す。 <p>菜の花プロジェクト及びレシピづくりの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため ・地元農産物の活用した加工品開発 ・里地里山を活用して循環の仕組みを考えていくため
実施体制、対象者等		<p>主催：明治大学黒川農場、明治大学農学部食料環境政策学科本所研究室、地元農業者、地元店舗、かえるプロジェクト（市民団体）等</p> <p>協力：麻生区役所</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日（土） 収穫祭時
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等
	内容	<p>① 元店舗と協力した地元農産物を活用した商品開発 （昨年は、ほうれん草シュークリーム、チーズケーキ、全粒粉クッキー）</p> <p>② 菜の花プロジェクトのパンフレット・メッセージカードの作成</p> <p>③ 他の市民環境団体と連携した連続講座の実施 9/30、10/14、10/28、11/11、11/25（すべて 10～12 時（金）、麻生市民館にて。要申し込み各回 30 名）</p>
予算等		-
その他		

地-8 里山アート制作と展示 【里山アートサンポ】

計 画

概要・目的		<p>概要 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー <p>目的 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力のPRにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		主催：和光大学 制作：和光大学表現学部の学生、卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所
実施内容	実施予定日	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示：平成28年11月12日（収穫祭）～約1週間程度 ・ツアー実施：平成28年11月12日以降
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	① 和光大学表現学部の学生・卒業生の作品 ② 里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の保全・管理（簡単なシフトが必要） ・設置場所の土地所有者の承諾

(3) 里地里山保全利活用専門部会

里地里山保全利活用専門部会の取り組み事項
平成 28 年度版

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

里-2 <里山の保全管理> 里山保全活動体験

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 ・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定 <p>目的</p> <p>【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：黒川竹行燈の会、川崎市みどりの協働推進課 協力：明治大学 対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日（土）収穫祭
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：黒川広町緑の保全地域 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	周知・PR	地元の小学校へのチラシの配布
	内容	<p>①竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生と竹行燈を作る。 （制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。） （今後に向けて：制作した竹行燈を汁守神社の参道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげていくことを検討。） <p>②里地里山の保全活動に対する意向調査 （保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の参加申込時に、保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。
	予算等	チラシ印刷費、材料費等
その他		-

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 指導者向け事前講習会の報告

実施日：平成27年10月13日（火）

実施場所：農業用管理倉庫 参加者：地元の方10名、三谷教授（専門部会長）、事務局3名

実施内容：11/7の本番に、子どもたちに指導できるように、事前に竹行燈づくりを覚える



農業用管理倉庫



作り方の説明



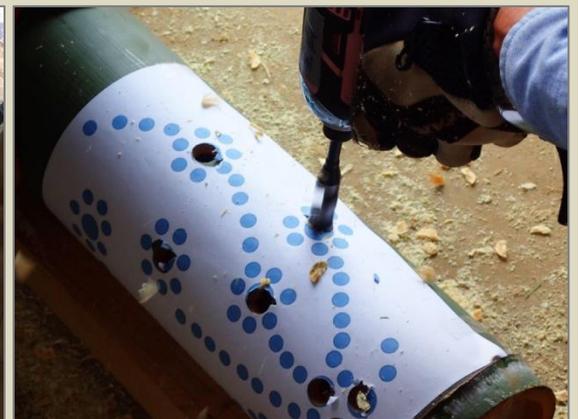
見本



底を平らに切る



裏側の穴あけ
(LED ライト用)



表側の穴あけ



穴あけの様子



試作品の完成

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 本番-①

地元の竹を使って

たけ あん どん
 ～竹行燈をつくろう～



○本日の流れ

時間	内容
9:00～ 9:15	集合、開始のあいさつ、移動
9:15～10:00	竹の切出し、移動
10:00～11:30	竹行燈制作
11:30～11:45	鑑賞会
11:45～12:00	終了のあいさつ、収穫祭へご案内

○作り方

No.	作業	道具	作業者	イメージ	No.	作業	道具	作業者	イメージ
1	竹を切り出す	チェーンソーのこぎり	指導者 参加者 代表		5	キャンドル設置用の穴をあける	自在きり	指導者	
2	切出した竹を運ぶ（緑地の入り口まで）	なし	参加者		6	あける穴の目印となる型紙を行燈に貼り付ける	セロテープ	参加者	
3	切出した竹を竹行燈1個分のサイズに切断する	チェーンソー	指導者		7	穴をあける	ドリル	参加者	
4	行燈の底と上をカットする	のこぎり	参加者		8	キャンドルを取り付ける	なし	参加者	

当日のしおり

（竹行燈づくりの流れ、作り方）

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 本番-②

【広町緑地】

①竹の切り出し



②竹の運び出し



【農業用管理倉庫前】

①行燈の底と上をカット



②ドリルで穴あけ



【完成品の鑑賞会（農業用管理倉庫内）】



【里山保全活動体験に向けての意向調査】

調査日：平成 27 年 11 月 7 日（土）

回答者：竹行燈づくりの保護者 12 名

質問① 今後もこのようなイベントに子供を参加させたいか
参加させたい : 12 名 (100%)

質問② 大人向けの里山保全活動の参加について
参加したい : 6 名 (50.0%)
予定があれば参加したい : 5 名 (41.6%)
参加したくない : 1 名 (8.3%)

質問③ イベントのご案内の送付について
案内を送って良い : 12 名 (100%)
(上記のうち、メールでの案内を希望 : 1 名)

里-2 <里山の保安全管理> 里山保全活動体験

計 画

概要・目的		<p>概要 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p>目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：地元農業者、川崎市みどりの協働推進課 協力：明治大学黒川農場 対象者：地元住民、明治大学学生</p>
実施内容	実施予定日	（仮）平成 29 年 2 月～3 月
	実施場所	黒川地域（未定）
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・（里－1）竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ ・麻生区、川崎市の広報やHPなどを活用した募集案内など
	内容	<p>◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。 <p>◆活動のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・手鎌や竹用ノコギリを使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
	予算等	－
その他		－

〈補足〉里山保全活動体験（ササ刈り体験）

【ササ刈りの様子（黒川丸山特別緑地保全地区）】



準備体操



A班（親子・初心者）
の作業風景



B班の作業風景



C班の作業風景



作業後の緑地



道具の手入れ



作業前



作業後

【散策（黒川海道特別緑地保全地区）】



散策



閉会式